第１０回名古屋工業会大阪支部交流サロンの開催（Web 講演）

令和４年４月２３日(土)に会員相互の親睦と交流を目的に、若手・女性部会主催の「第１０回名古屋工業会大阪支部交流サロン（Web 講演）」を開催いたしました。若手現役やシニアも含めた楽しい交流会となりました。

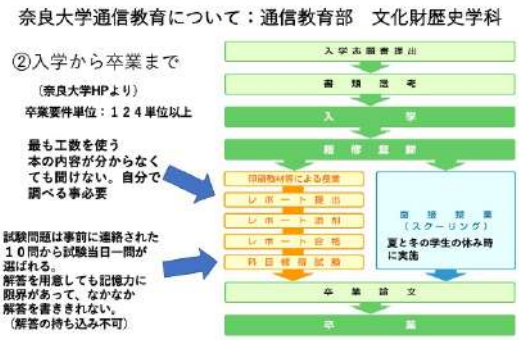
今回は、初参加の９名を含め、名古屋、横浜、石川から参加があり、３７名の多数参加となりました。懇親会はございませんでしたが、講演と質疑、懇話で約２時間 30 分の賑やかな交流会となりました。

講演タイトルは、『奈良大学通信教育課程を卒業して』と題して、元光洋精工の横山誠（K47）様に、通信教育の内容・特徴と卒論「明治の神葬祭の展開と限界」の紹介、及び地域の歴史情報の調査（大塩平八郎の乱等）とライフワークである「歴史探訪」活動のお話をしていただきました。

Web 会議が初めての方には事前に接続テストも実施いたしました。

記：坪田博隆（M51）

１．奈良大学通信教育部　文化財歴史学科の紹介



２．奈良大学で学んだこと、良かったこと

奈良大学通信教育で学んだ事（良かった事）

- 歴史は各層の人々の積み上げであることが理解できた。
  例えば：人民・農民の歴史⇒民俗学
  町民の歴史⇒『日本永代蔵』など
  公家の歴史⇒『増鏡』などに記録されており、それぞれの歴史の見方が異なる。
  歴史は一つだけの流れではない！
- 卒論調査などで、自分で自主的に調査するコツがつかめた。
  図書館の調査などで、関連事項がいもづる式に判ってくる。
  例えば、神葬祭対応で龍田大社の動きが記録文書から理解でき、安堵村の人々がなぜ地元ではない龍田大社に神葬祭をお願いしたかが理解できた。
- 同じ世代の人々が７０歳を超えても、歴史の勉強に頑張っておられる姿に励まされた。

３．卒業論文　奈良県の神葬祭調査地域

１．はじめに：神葬祭の実態調査対象の３地域

1）十津川村
・紀伊山地の山中の大きな村
・全村が神葬祭に変わり、継続

2）奈良市丹生町
・奈良市にはなったが大和高原の山中の村であった。
・全村が神葬祭に変わり、継続

3）生駒郡安堵町
・奈良盆地内にある。
・村の一部が神葬祭を始め その後、仏式に戻った

４．卒論調査　十津川村神社の祖霊社

十津川村の祖霊社　写真②　国王神社と神社内の祖霊社

祖霊社は本殿の横に並んで置かれている・・・珍しい

５．地域の歴史調査１　大塩平八郎檄文

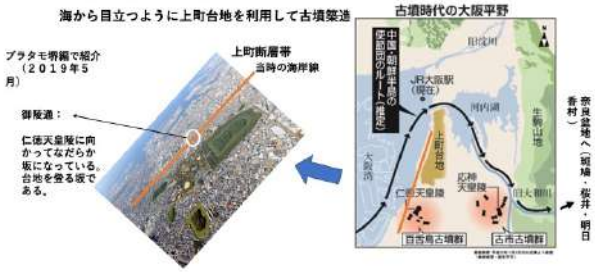
参考：大塩平八郎の檄文

檄文（原文）　木版刷で版木屋に一行を四段に分けて彫らせ、大塩自らが組み立てて印刷した

【要点解説】
上に立つもの（士君）は常に高ぶった生活をしている。
また大切な政にたずさわる役人は、賄賂を公然と授受し
あったり、奥向女中に家族を送り込み、つたない身分から
立身出世し、自分自身や自分の家の栄えることだけに腐心
している。そのため上に立つものは自分の領地の、また
役人は自分の知行地の民百姓に過大な用金を払わせて、
年貢請桜の負担が大変なところに無理な負担を強いている。
民百姓は困窮し苦しんでいる。

６．地域の歴史調査２　堺百舌鳥古墳の立地

調査事例２　堺市の歴史的動向：古墳時代

１．古墳時代・・・東アジア情勢の変化に対応

海から目立つように上町台地を利用して古墳築造